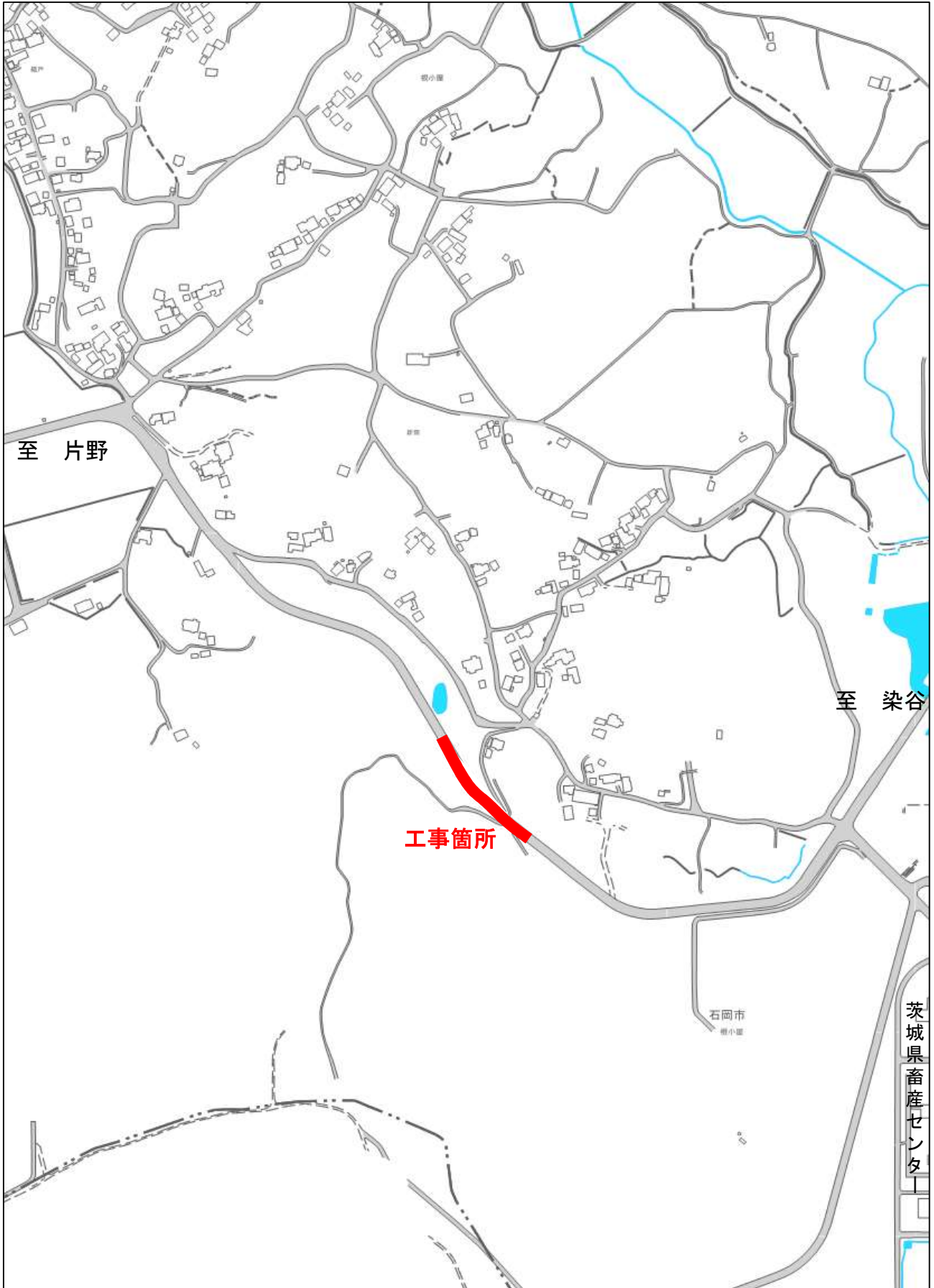




# 位置図



R2単・市道B1481号線 道路舗装工事

石岡市 根小屋 地内

## 特記仕様書

### (総則)

- 第1条 本特記仕様書は、R2単・市道B1481号線道路舗装工事に適用する。
- 2 本特記仕様書は、茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書(以下、「共通仕様書」という。)を補完する。

### (工期)

- 第2条 工期は、契約書に記載された期間内に完了するよう順守すること。なお、休日等には日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季期休暇を含んでいる。

### (工事数量)

- 第3条 工事数量は、別冊工事設計書内に記載されたとおりとする。

### (工程関係)

- 第4条 工事の作業時間帯は、下表のとおりとすること。なお、作業時間帯の変更を要する場合には、速やかに監督員と協議すること。

工種	作業時間帯	期間
全工種	作業開始 9時00分 作業終了 17時00分	工期期間内

### (建設資材)

- 第5条 使用する資材のうち、下表の工種には、茨城県リサイクル建設資材を使用すること。なお、指定されたリサイクル建設資材の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。

工種	リサイクル建設資材	規格
舗装工	再生密粒度As (20)	
舗装工	再生粗粒度As (20)	

### (建設機械)

- 第6条 使用機械のうち、バックホウについては、排出ガス対策型の第1次基準値以上のものを使用すること。
- 2 排出ガス対策型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、排出ガス対策型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。
- 第7条 使用機械のうち、バックホウについては、低騒音(低振動)型建設機械を使用すること。
- 2 低騒音(低振動)型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、低騒音(低振動)型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

(過積載の防止)

第8条 本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。

- (1) 積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込まず、また積み込ませないこと。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
- (3) 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (4) さし枠装着車、物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。また、これらの車両を工事現場に出入りさせないこと。
- (5) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長するような行為をしないこと。
- (6) 取引関係のあるダンプカー事業者が不正行為(過積載、さし枠装着車や不正表示車等の使用)を行っている場合には、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
- (8) 下請契約の相手方や資材納入業者の選定にあたっては、交通安全に対する配慮に欠ける者やダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

(交通誘導員の配置)

第9条 工事の施工にあたっては、別添図面のとおり、交通誘導員2名を配置し、一般交通等に支障のないよう十分注意して施工すること。なお、交通誘導員は警備業者の交通誘導業務に従事する警備員とするとともに、別添図面の配置により難しい場合には、監督員と協議すること。

(発生土の処理)

第10条 本工事における発生土については、下記により搬出すること。

- (1) 搬出先にストックヤードを利用するよう指定されている場合は、設計書により(財)茨城県建設技術管理センター(以下「管理センター」という)、が管理する所定のストックヤードを利用すること。
- (2) 工事着手前に、ストックヤードの利用申込みを管理センターに対して行うこと。
- (3) 事前にストックヤードに搬出する土砂の土質試料を採取し、必要な試験を行うとともに、その結果を管理センターへ提出すること。
- (4) 搬出する10日以上前に、管理センターと運搬経路、工程等について打ち合わせを行うこと。
- (5) スtockヤード利用料金は、設計地山土量1m<sup>3</sup>当たりの単価で算出し、管理センターの請求により支払うこと。
- (6) このほかストックヤード利用の詳細については管理センターと協議のこと。

(建設副産物実態調査)

第11条 建設副産物実態調査(センサス)の対象となる建設副産物の品目については、「建設副産物情報交換システム(COBRIS)」によりデータを作成後、出力した調査票1部を監督員に提出すること。なお、出力した調査票は、茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書第1編第1章総則1-1-18建設副産物第7項に基づく再生資源利用実施書及び

再生資源利用促進実施書の提出に代わるものとする。

(建設リサイクル法に係る積算条件明示)

第12条 本工事は建設リサイクル法の対象工事である。本工事における分別解体・再資源化等については、下記の積算条件を設定している。なお、この条件は、契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであり、確認した内容が別の方法となった場合でも、契約変更の対象としない。ただし、工事発注後に明らかになった事情や、請負者の責によるものでない事項により、予定した条件によりがたい場合には、監督員と協議するものとする。

(1)分別解体等の方法

工 程 ご と の 作 業 内 容 及 び 解 体 方 法	工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法(※1)
	①仮設	仮設工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他 ( )	その他の工事 □有 □無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

※1 該当がない場合は記載の必要はない。

(2)再資源化をする施設の名称及び所在地(※2)

特定建設資材廃棄物の種類	施設の名称	所 在 地
アスファルト・コンクリート塊	大成ロテック(株) 石岡合材工場	茨城県石岡市三村大塚5918

※2 積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。

(再資源化等報告書)

第13条 分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、監督員の指示する様式を作成し、監督員に報告すること。

(不正軽油の使用防止)

第14条 本工事の施工にあたっては、下記の事項を遵守すること。

- (1)現場で不正軽油を使用しないこと。
- (2)現場で不正軽油を使用させないこと。
- (3)不正軽油を購入しないこと。
- (4)取引関係にある運送事業者等が不正軽油を使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講じること。
- (5)下請契約の相手方、または燃料納入業者を選定するにあたっては、不正軽油を使用する者、または不正軽油を販売する者を排除すること。
- (6)県税事務所職員による使用燃料の抜き取り調査に協力すること。また、調査の際には、現場代理人が立ち会うこと。
- (7)当該工事に関して、法令(地方税法等)に違反していることが判明した場合は、直ちに監督員に報告すること。

(労働安全衛生法等の遵守)

第15条 請負人は、共通仕様書1-1-34に基づき、労働安全衛生法等関係法令を遵守し、特に次の事項に留意すること。

- (1) 受注者は、高所作業における作業床、囲い、二段手すり、幅木、防網の設置、作業員の安全帯の使用、悪天候時の作業禁止、照度の保持、踏み抜きの防止、不用のたて杭等における危険の防止、昇降設備の設置、墜落危険箇所の立入禁止等により、墜落・転落災害の防止措置を講じること。
  - (2) 受注者は、建設機械による作業に先立ち、当該建設機械の転落、地山の崩壊等による作業員の危険を防止するため、地形や地質の状況等を調査し、作業計画を定めてから作業を行うこと。また、作業中は、機械の制限速度、転落・接触等の防止、誘導者の合図、運転者が運転位置から離れるときの措置、機械の移送、搭乗・使用の制限、修理等について、関係法令を遵守すること。
  - (3) 受注者は、地山の掘削作業に先立ち、地山の崩壊や埋設物の損壊等により危険を及ぼすおそれのあるときは、作業箇所及び周辺の地山について調査し、掘削の時期及び順序を定めて作業を行うこと。また、土砂崩壊災害の防止等のため、手掘り掘削における掘削面の勾配や土止め支保工、防護網の設置、作業員の立入禁止、埋設物等による危険の防止、掘削機械等の使用制限、誘導者の配置、保護帽の着用、照度の保持等について、関係法令を遵守すること。
  - (4) 受注者は、建設機械の操作や玉掛け作業を、法令で定める免許を有する者、または技能講習や特別教育修了者に行わせること。
  - (5) 受注者は、掘削面の高さが2m以上となる地山の掘削作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を終了した者のうちから、地山の掘削作業主任者を選任しなければならない。
  - (6) 受注者は、土止め支保工の切り梁、腹起こしの取り付け、取り外し作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を修了した者のうちから、土止め支保工作業主任者を選任しなければならない。
- 2 受注者は、監督員より作業員の免許等の提示を求められたときは、協力すること。

(工事カルテの登録)

第16条 本工事は、工事カルテの登録対象工事であるので、工事カルテの工事实績情報サービス(CORINS)への登録すること。また、登録内容確認書を監督員に提出すること。

(安全管理)

第17条 本工事は、既設舗装面と舗装撤去箇所との間に段差が生じるため、段差すりつけ等を適切に行うこと。また、看板や照明灯等の設置により、安全対策を施すこと。

(疑義)

第18条 本工事の施工及び設計図書等に疑義が生じた場合には、監督員と協議のうえ、その指示に従うこと。

# 工事数量総括（内訳）表

第 02-01-590-A-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
道路改良						
			1	式		
構造物撤去工						
			1	式		
構造物取壊し工						舗装版切断 17.000 m 舗装版破碎 1,450.000 m2
			1	式		
運搬処理工						殻運搬 72.000 m3 殻処分 72.000 m3
			1	式		
仮設工						
			1	式		
交通管理工						交通誘導警備員 12.000 人日
			1	式		
舗装						
			1	式		
舗装工						
			1	式		
舗装準備工						不陸整正 1,450.000 m2
			1	式		
アスファルト舗装工						表層(車道・路肩部) 1,450.000 m2 基層(車道・路肩部) 1,450.000 m2
			1	式		
区画線工						
			1	式		
区画線工						熔融式区画線 496.000 m
			1	式		
直接工事費計						
			1	式		
共通仮設費（率計上）						
			1	式		
共通仮設費計						
			1	式		
純工事費						
			1	式		
現場管理費						
			1	式		
工事原価						
			1	式		

# 工事数量総括（内訳）表

第 02-01-590-A-001 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別	数量	単位	金額	細別内訳
一般管理費等				
	1	式		
契約保証費用				
	1	式		
工事価格				
	1	式		
消費税相当額				
	1	式		
請負工事費				
	1	式		



# 本工事費内訳書

第 02-01-590-A-001 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
道路改良					
構造物撤去工					
構造物取壊し工					
舗装版切断	17.000	m			
舗装版切断 舗装版種別(アスファルト舗装版),アスファルト舗装版厚(15cm以下),費用の内訳(全ての費用)	17.000	m			施工P 第0001号代価表
舗装版破碎	1,450.000	m2			
舗装版破碎 舗装版種別(アスファルト舗装版),障害等の有無(無し),騒音振動対策(不要),舗装版厚(15cm以下),積込作業の有無(有り),費用の内訳(全ての費用)	1,450.000	m2			施工P 第0002号代価表
運搬処理工					
殻運搬	72.000	m3			
殻運搬 殻発生作業(舗装版破碎),積込工法区分(機械(騒音対策不要、厚15cm以下)),DID区間の有無(無し),運搬距離(km)(DID区間無し)(22.0km以下),費用の内訳(全ての費用)	72.000	m3			施工P 第0003号代価表
殻処分	72.000	m3			
アスファルト廃材処理費(中間処理施設) 掘削材 40cm以下	170.000	t			
仮設工					
交通管理工					
交通誘導警備員	12.000	人日			

# 本工事費内訳書

第 02-01-590-A-001 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
交通誘導警備員 B	12.000	人			
舗装					
舗装工					
舗装準備工					
不陸整正	1,450.000	m2			
不陸整正 補足材料の有無(有り), 補足材料平均厚さ(29mm以上34mm未満), 補足材料(粒度調整碎石 M-30), 費用の内訳(全ての費用)	1,450.000	m2			施工P 第0004号代価表
アスファルト舗装工					
表層(車道・路肩部)	1,450.000	m2			
表層(車道・路肩部) 平均幅員(3.0m超), 1層当平均仕上厚 70mm以下(50 mm), 材料(再生密粒度アスファルト混合物(20)), 瀝青材料種類(タックコート PK-4), 費用の内訳(全ての費用)	1,450.000	m2			施工P 第0005号代価表
基層(車道・路肩部)	1,450.000	m2			
基層(車道・路肩部) 平均幅員(3.0m超), 1層当平均仕上厚 70mm以下(50 mm), 材料(再生粗粒度アスファルト混合物(20)), 瀝青材料種類(プライムコート PK-3), 費用の内訳(全ての費用)	1,450.000	m2			施工P 第0006号代価表
区画線工					
区画線工					
溶融式区画線	496.000	m			

# 本工事費内訳書

第 02-01-590-A-001 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
区画線設置（外側線・実線W=15cm） 夜間作業の有無(無し), 施工方法区分(熔融式手動), 豪雪補正の有無(無し), 規格・仕様区分(実線 15cm), 時間的制約の有無(無し), 塗布厚(1.5mm), 排水性舗装に施工する場合の補正(無し), 未供用区間の場合の補正(無し), 熔融式塗料規格(含有量15~18%), 塗料区分(白), プライマー規格(アスファルト舗装), 費用の内訳(全ての費用)	390.000	m			第0007号代価表
区画線設置（中央線・破線W=15cm） 夜間作業の有無(無し), 施工方法区分(熔融式手動), 豪雪補正の有無(無し), 規格・仕様区分(破線 15cm), 時間的制約の有無(無し), 塗布厚(1.5mm), 排水性舗装に施工する場合の補正(無し), 未供用区間の場合の補正(無し), 熔融式塗料規格(含有量15~18%), 塗料区分(白), プライマー規格(アスファルト舗装), 費用の内訳(全ての費用)	100.000	m			第0008号代価表
区画線設置（外側線・破線W=30cm） 夜間作業の有無(無し), 施工方法区分(熔融式手動), 豪雪補正の有無(無し), 規格・仕様区分(破線 30cm), 時間的制約の有無(無し), 塗布厚(1.5mm), 排水性舗装に施工する場合の補正(無し), 未供用区間の場合の補正(無し), 熔融式塗料規格(含有量15~18%), 塗料区分(白), プライマー規格(アスファルト舗装), 費用の内訳(全ての費用)	6.000	m			第0009号代価表
直接工事費計					
共通仮設費（率計上）					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					

# 本工事費内訳書

第 02-01-590-A-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
一般管理費等									
契約保証費用									
工事価格									
消費税相当額									
請負工事費									

第 0001 号 代価表 舗装版切断

施工P(機6.42%, 労53.37%, 材40.21%, 市0.00%)

第02-01-590-A-001号

1.000 m 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
コンクリートカッタ [バキューム式・湿式] 切削深20cm級	4.340	%			K1
特殊作業員	18.480	%			R1
世話役	9.590	%			R2
普通作業員	8.000	%			R3
コンクリートカッタ (ブレード) 径22インチ	37.360	%			Z1
ガソリン レギュラー	1.930	%			Z2
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J02 アスファルト舗装版厚	1	15cm以下
J05 費用の内訳	1	全ての費用

第 0002 号 代価表 舗装版破碎

施工P(機10.10%, 労81.87%, 材8.03%, 市0.00%)

第02-01-590-A-001号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.45m <sup>3</sup> (平積0.35m <sup>3</sup> )	10.100	%			K1
世話役	29.500	%			R1
運転手 (特殊)	27.770	%			R2
普通作業員	24.600	%			R3
軽油 1.2号	8.030	%			Z1
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J02 障害等の有無	1	無し
J03 騒音振動対策	1	不要
J04 舗装版厚	4	15cm以下
J06 積込作業の有無	1	有り
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第 0003 号 代価表 殻運搬

施工P(機48.90%, 労36.46%, 材14.64%, 市0.00%)

第02-01-590-A-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	48.900	%			K1
運転手 (一般)	36.460	%			R1
軽油 1.2号	14.640	%			Z1
			(標準単価 積算単価	)	

条件名称	入力値	入力名称
J01 殻発生作業	2	舗装版破碎
J02 積込工法区分	4	機械 (騒音対策不要、厚15cm以下)
J03 DID区間の有無	1	無し
J10 運搬距離 (km) (DID区間無)	6	22.0km以下
J16 費用の内訳	1	全ての費用

第 0004 号 代価表 不陸整正

施工P(機18.53%, 労45.96%, 材35.51%, 市0.00%)

第02-01-590-A-001号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
モータグレーダ [土工用・排ガス対策型 (第2次)] ブレード幅3.1m	9.140	%			K1
ロードローラ [マカダム・排ガス対策型 (第2次)] 運転質量10t 締固め幅2.1m	7.080	%			K2
タイヤローラ [普通型] 運転質量8~20t	2.310	%			K3
運転手 (特殊)	29.000	%			R1
特殊作業員	8.930	%			R2
普通作業員	6.480	%			R3
世話役	1.550	%			R4
粒度調整砕石 M-30	30.810	%			Z1
軽油 1.2号	4.700	%			Z2
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 補足材料の有無	2	有り
J02 補足材料平均厚さ	9	29mm以上34mm未満
J03 補足材料	11	粒度調整砕石 M-30
J04 費用の内訳	1	全ての費用



第 0005 号 代価表 表層(車道・路肩部)

施工P(機1.64%, 労9.72%, 材88.64%, 市0.00%)

第02-01-590-A-001号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m	1.050	%			K1
ロードローラ [マカダム] 運転質量10~12t	0.170	%			K2
タイヤローラ [普通型] 運転質量8~20t	0.170	%			K3
普通作業員	3.540	%			R1
特殊作業員	2.030	%			R2
運転手 (特殊)	1.970	%			R3
世話役	0.700	%			R4
再生アスファルト混合物 再生密粒度AS混合物(20)	85.530	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	2.560	%			Z2
軽油 1.2号	0.470	%			Z3
			(標準単価 積算単価	)	

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均幅員	4	3.0m超
J04 1層当平均仕上厚 70mm以下	50	50 mm
J05 材料	10	再生密粒度アスファルト混合物(20)
J06 瀝青材料種類	1	タックコート PK-4
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第 0006 号 代価表 基層(車道・路肩部)

施工P(機1.73%, 労10.31%, 材87.96%, 市0.00%)

第02-01-590-A-001号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m	1.110	%			K1
ロードローラ [マカダム] 運転質量10~12t	0.180	%			K2
タイヤローラ [普通型] 運転質量8~20t	0.180	%			K3
普通作業員	3.760	%			R1
特殊作業員	2.150	%			R2
運転手 (特殊)	2.090	%			R3
世話役	0.740	%			R4
再生アスファルト混合物 再生粗粒度AS混合物(20)	79.420	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	7.950	%			Z2
軽油 1.2号	0.500	%			Z3
			(標準単価 積算単価	)	

条件名称	入力値	入力名称
J01 平均幅員	4	3.0m超
J04 1層当平均仕上厚 70mm以下	50	50 mm
J05 材料	12	再生粗粒度アスファルト混合物(20)
J06 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第 0007 号 代価表 区画線設置

第 02-01-590-A-001号

1000.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
区画線設置 (熔融式) 昼間 豪雪無 実線15cm 制約無	1,000.000	m			
トラフィックペイント 熔融型 3種1号 ビーズ15~18 白	570.000	kg			
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	25.000	kg			
接着用プライマー 区画線用	25.000	kg			
軽油 1.2号	44.000	L			
諸雑費 (率+まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J01 夜間作業の有無	1	無し
J02 施工方法区分	1	熔融式手動
J03 豪雪補正の有無	1	無し
J04 規格・仕様区分	1	実線 15cm
J05 時間的制約の有無	1	無し
J06 塗布厚	1	1.5mm
J07 排水性舗装に施工する場合の補正	1	無し
J08 未供用区間の場合の補正	1	無し
J09 熔融式塗料規格	1	含有量15~18%
J11 塗料区分	1	白
J12 プライマー規格	1	アスファルト舗装
J13 費用の内訳	1	全ての費用

第 0008 号 代価表 区画線設置

第 02-01-590-A-001号

1000.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
区画線設置 (熔融式) 昼間 豪雪無 破線15cm 制約無	1,000.000	m			
トラフィックペイント 熔融型 3種1号 ビーズ15~18 白	570.000	kg			
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	25.000	kg			
接着用プライマー 区画線用	25.000	kg			
軽油 1.2号	49.000	L			
諸雑費 (率+まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J01 夜間作業の有無	1	無し
J02 施工方法区分	1	熔融式手動
J03 豪雪補正の有無	1	無し
J04 規格・仕様区分	5	破線 15cm
J05 時間的制約の有無	1	無し
J06 塗布厚	1	1.5mm
J07 排水性舗装に施工する場合の補正	1	無し
J08 未供用区間の場合の補正	1	無し
J09 熔融式塗料規格	1	含有量15~18%
J11 塗料区分	1	白
J12 プライマー規格	1	アスファルト舗装
J13 費用の内訳	1	全ての費用

第 0009 号 代価表 区画線設置

第 02-01-590-A-001号

1000.000 m 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
区画線設置 (熔融式) 昼間 豪雪無 破線30cm 制約無	1,000.000	m			
トラフィックペイント 熔融型 3種1号 ビーズ15~18 白	1,130.000	kg			
ガラスビーズ 0.106~0.850mm	50.000	kg			
接着用プライマー 区画線用	50.000	kg			
軽油 1.2号	80.000	L			
諸雑費 (率+まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称	入力値	入力名称
J01 夜間作業の有無	1	無し
J02 施工方法区分	1	熔融式手動
J03 豪雪補正の有無	1	無し
J04 規格・仕様区分	7	破線 30cm
J05 時間的制約の有無	1	無し
J06 塗布厚	1	1.5mm
J07 排水性舗装に施工する場合の補正	1	無し
J08 未供用区間の場合の補正	1	無し
J09 熔融式塗料規格	1	含有量15~18%
J11 塗料区分	1	白
J12 プライマー規格	1	アスファルト舗装
J13 費用の内訳	1	全ての費用











# 平均幅員面積計算表

種 別：舗装工  
 細 別：表層，基層  
 規 格：再生密粒度As t=5cm，再生粗粒度As t=5cm

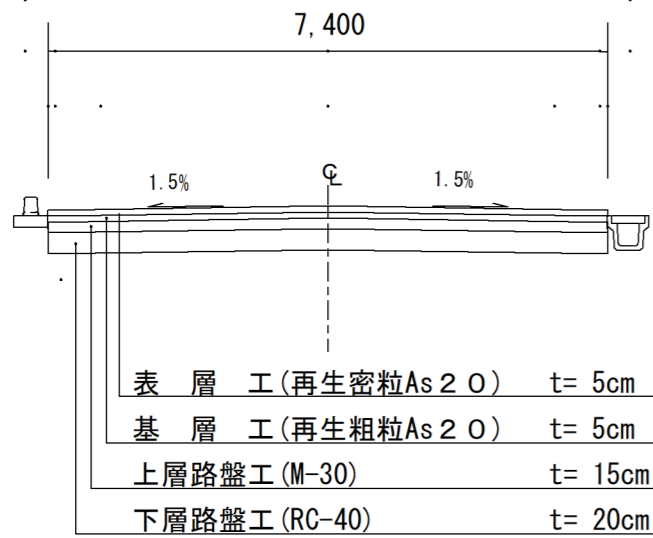
測 点	距 離(m)	幅(m)	平均幅(m)	面 積(m <sup>2</sup> )	摘 要
B.P	—	7.40	—	—	
No. 1	20.000	7.30	7.350	147.0	
No. 2	20.000	7.40	7.350	147.0	
No. 3	20.000	7.40	7.400	148.0	
No. 4	20.000	7.40	7.400	148.0	
No. 5	20.000	7.40	7.400	148.0	
No. 6	20.000	7.40	7.400	148.0	
No. 7	20.000	7.40	7.400	148.0	
No. 8	20.000	7.30	7.350	147.0	
No. 9	20.000	7.30	7.300	146.0	
EP	20.000	7.40	7.350	147.0	
			3.700	0.0	
BP-2.0	$2.000 \times 7.40 \times 1/2$			7.4	
EP+2.0	$2.000 \times 7.40 \times 1/2$			7.4	
小 計	204.000			1,488.8	

# 平均幅員面積計算表

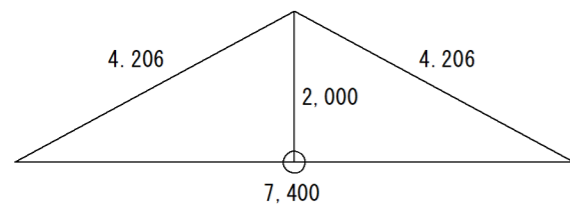
種 別：舗装工  
 細 別：不陸整正  
 規 格：粒度調整碎石 M-30

測 点	距 離(m)	幅(m)	平均幅(m)	面 積(m <sup>2</sup> )	摘 要
B.P	—	7.40	—	—	
No. 1	20.000	7.30	7.350	147.0	
No. 2	20.000	7.40	7.350	147.0	
No. 3	20.000	7.40	7.400	148.0	
No. 4	20.000	7.40	7.400	148.0	
No. 5	20.000	7.40	7.400	148.0	
No. 6	20.000	7.40	7.400	148.0	
No. 7	20.000	7.40	7.400	148.0	
No. 8	20.000	7.30	7.350	147.0	
No. 9	20.000	7.30	7.300	146.0	
EP	20.000	7.40	7.350	147.0	
			3.700	0.0	
BP-2.0	$2.000 \times 7.40 \times 1/2$			7.4	
EP+2.0	$2.000 \times 7.40 \times 1/2$			7.4	
小 計	204.000			1,488.8	

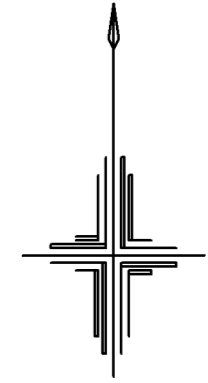
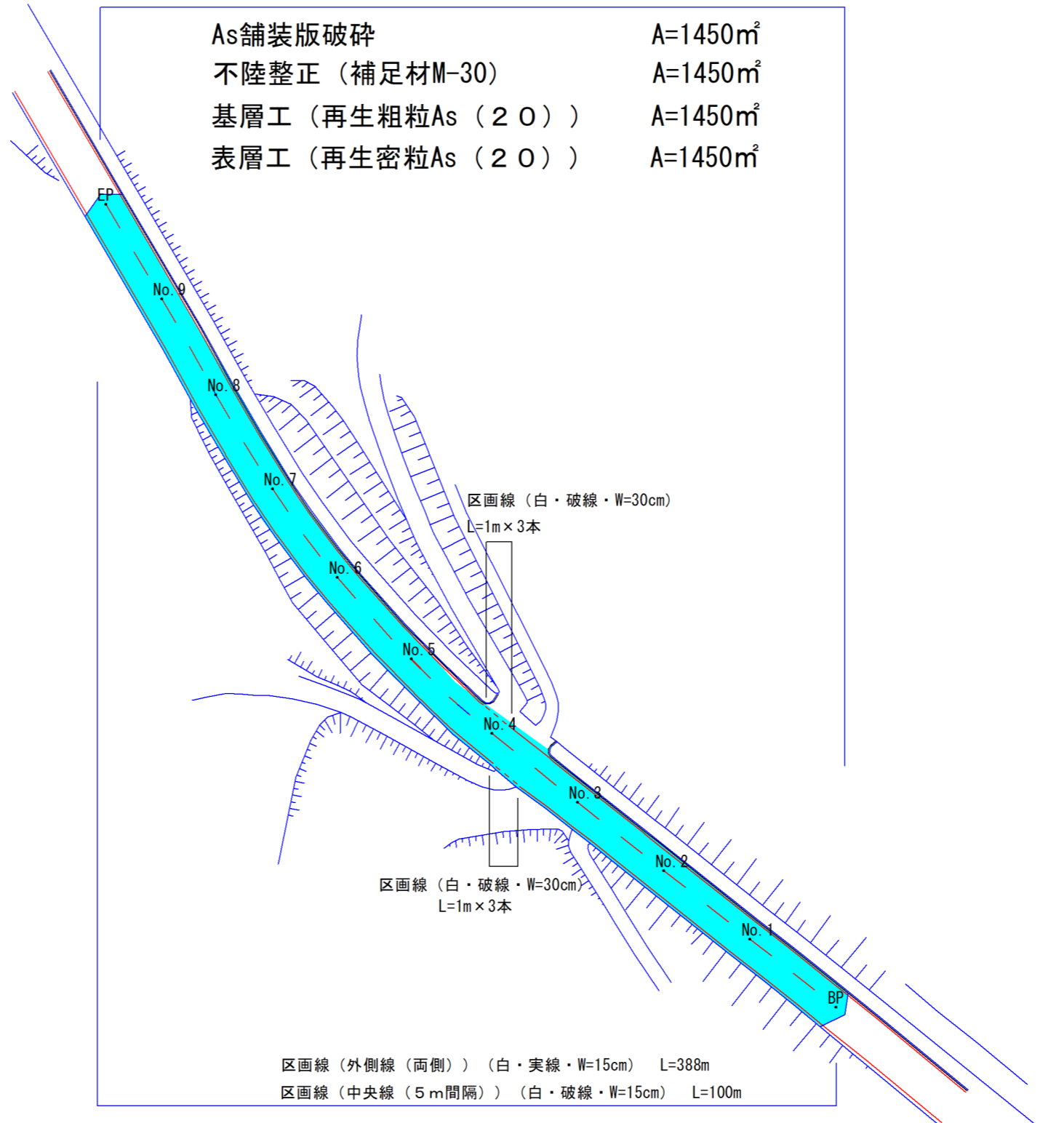
標準断面図



ジョイント部 (BP, EP)



R2単・市道B1481号線 道路舗装工事 L=204m



工事名	R2単・市道B1481号線 道路舗装工事
工事場所	石岡市根小屋地内
図面番号	1 / 1
図面種別	平面図, 標準断面図
縮尺	S=1 / 1000